

# 血液浄化センターの取り組み その1

看護師長：笠原智樹 副看護師長：古宮育夫

本年度、当院看護部の目標の一つである「当院の得意とする分野の医療、看護の情報発信をする」について、血液浄化センターでの取り組みを御紹介いたします。

1つ目は「患者のニーズに沿った情報誌を3ヶ月/回作成・掲示し情報を発信する」

2つ目は「患者向けの災害勉強会の実施（ポータブルDVDで実施）」です。

情報発信については「情報発信係」を新設し、「仁戸名の森のかわらばん」と題した年4回の季刊新聞を発行しています。内容は「看護師のコーナー」「臨床工学技士のコーナー」「新任職員の紹介」「季節の話題」などです。

「看護師のコーナー」では、治療上の注意点や季節ごとの日常生活上の工夫など。「臨床工学技士のコーナー」では、技士視点での治療上のトラブル対応などについて、それぞれスタッフ持ち回りで分かりやすく噛み砕いた内容を、壁新聞としてパウチし患者休憩室の机や壁に張り出すほかパンフレットサイズに印刷し、治療中にも閲覧できるようにしています。



そのため外来患者さんの閲覧はほぼ100%となっています。

患者さんからの聞き取りでは「写真が分かりやすい」「新聞に載っているとちゃんと読むし、関心も高くなる」「治療や生活についての再確認ができた」「色合いもよく読みやすい」

「病気の話もいいが、スタッフ紹介なども入れてほしい」などの好意的な意見を多くいただいております。今後も更に、より良い内容へと検討を続けてゆきたいと考えています。